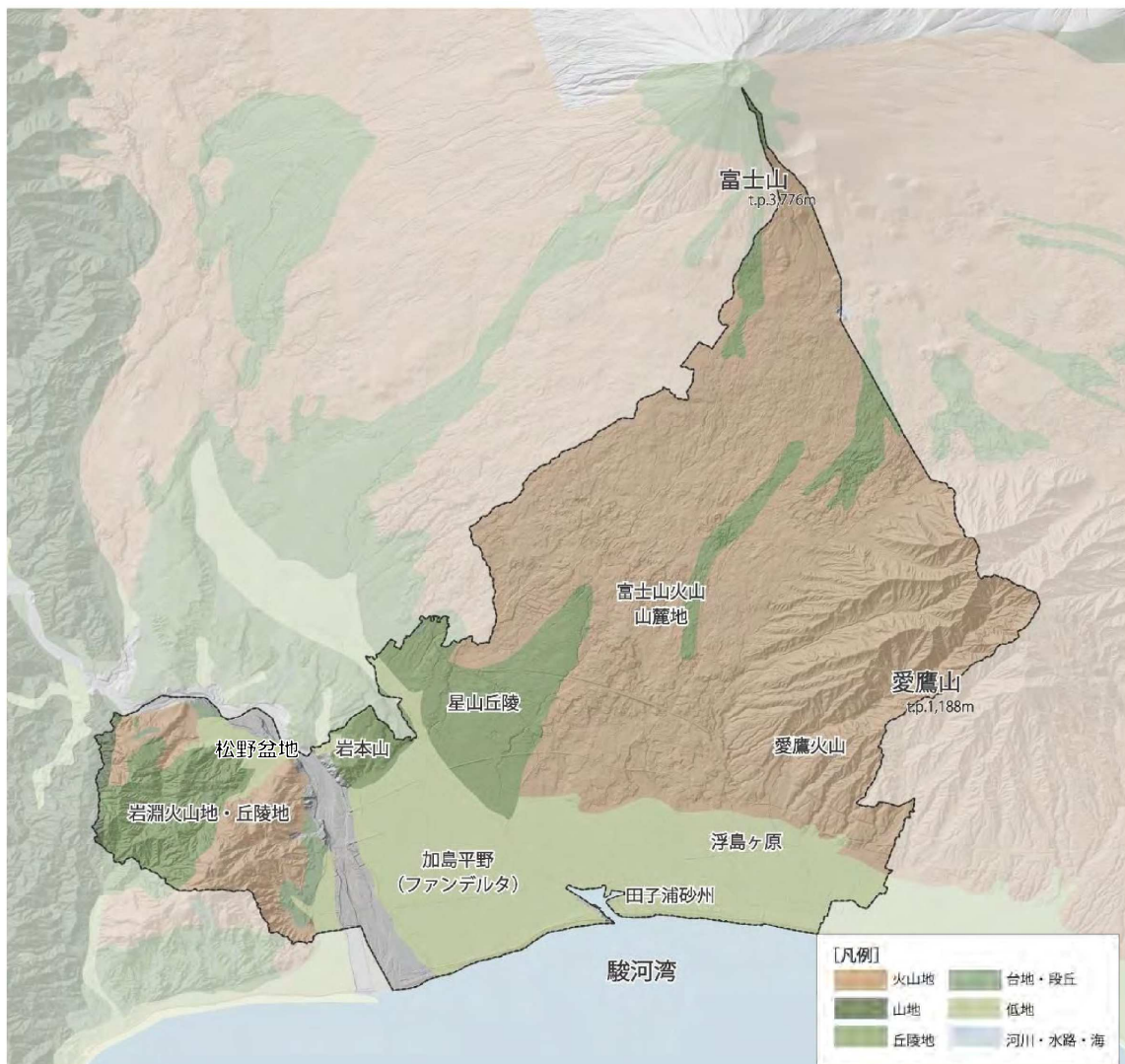


2. 基礎調査

2.1 本市の地形状況

本市は、静岡県東部に位置し、北に富士山や愛鷹山を仰ぎ、南に駿河湾を望み、市内には日本三大急流の一つである富士川が流れる自然と都市が共存する地域で、その市域は、東西に23.2km、南北に27.1km、総面積は244.95km²となっている。駿河湾に面した全長10kmの海岸線から、富士山の山頂直下に位置する市域の北端までの標高差は3,680mに及び、海岸線から富士山までを市域に含む唯一の都市である。

本市の東部及び北部は、富士火山及び愛鷹火山により形成された斜面地帯であり、南に向かって緩やかに傾斜している。一方、西部、中部、南部は、加島平野や浮島ヶ原が広がるとともに、沿岸部では東西に細長く駿河湾を縁取る田子浦砂州が形成されている。また、富士川の沿岸では、松野盆地といった、一部の平坦地及び河岸段丘の段丘面を除いて、ほとんどが急峻な山地となっている。



出典:国土交通省 50 万分の 1 土地分類基本調査 (GIS データ)

図 2-1 富士市の地形

2.2 対象区域の下水道計画と整備状況

本計画の対象区域は、下水道法*第2条第1項で定義される下水(雨水)を排除する区域とし、下水道事業計画*区域とする。下水道事業計画*は、長期的な下水道整備の実施内容や根幹的施設を示す基本計画(全体計画)の策定後、下水道法*に基づく概ね5~7年程度で整備可能な内容を記載した事業計画*を策定したうえで実施するとともに、順次対象区域を拡げながら継続的な整備を進めていく。

なお、本計画は公共下水道事業計画の区域に限定した計画としているが、事業区域以外についても、本計画の進捗や浸水実績を踏まえながら、計画見直しのなかで適切に対応していく。

次頁に、下水道計画区域図(雨水)を示す。

〔 I 〕 富士市公共下水道事業計画書	
公共下水道管理者	富士市長
工事着手の年月日	昭和34年4月1日
工事完成の予定年月日	平成37年3月31日

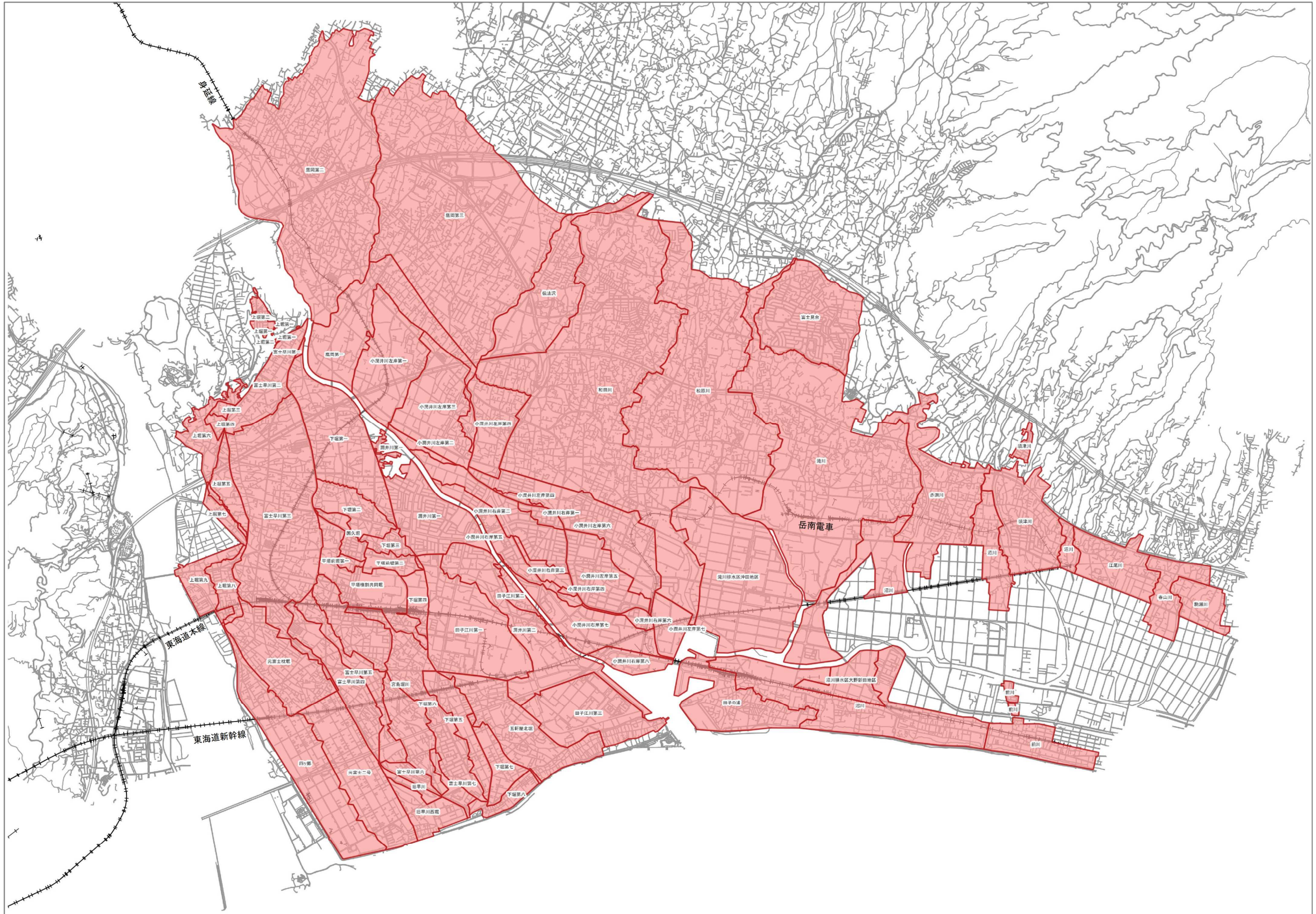


图 2-2 下水道計画区域图(雨水)

2.3 本市における浸水被害状況

2.3.1 近年の主な浸水被害(内水氾濫)

近年、本市においても豪雨による浸水被害が多発している状況となっている。

特に内水氾濫*による被害が大きかった、平成 26(2014)年 10 月の台風 18 号や令和 3(2021)年 7 月の豪雨の降雨状況と被害状況を下記に示す。

大雨により、多くの家屋や工場などの浸水被害(床上・床下浸水)が発生するとともに、主要幹線道路*などの道路冠水*により、住民生活や企業活動に甚大な影響を与えた。

表 2-1 主な内水氾濫*被害

	平成 26(2014)年 10 月台風	令和 3(2021)年 7 月降雨
発生日	平成 26(2014)年 10 月 6 日	令和 3(2021)年 7 月 3 日
総降雨量	385.5mm	513mm
継続時間	32 時間	72 時間
1 時間雨量	68.0mm/時(時間最大)	43.5mm/時間(時間最大)
被害状況		

2.3.2 直近 10 年間の浸水被害状況

直近 10 年間における、本市で発生した内水氾濫*被害状況を 20 頁、図 3-12 に示す。

直近 10 年間で浸水被害が多発している地区として、沖田地区、江尾地区、大野新田地区、松岡地区等が挙げられる。